京都

世界経済は各国の景気刺激策や中国を中心とした新興国需要に支えられ、勢いを取り戻してきた。わが国経済も緩やかながら回復基調で推移し昨年はアジア向け輸出にけん引され、関西全域でプラス成長を果たしている。京都を取り巻く景況感にも改善傾向が鮮明に表れ、管内の設備投資計画では依然、前年度を上回る基調で推移している。中でも電子部品やデバイス関連の回復基調が先導役となり一般機械分野の生産を後押しし、増加傾向を示している。新年の年賀会でも「新たな市場を切り開く」「守りから攻めに転ずる時」と経済界や企業トップなどからこぞって力強い言葉を聞くことができた。まさに京都経済・産業界にとってこれまでの萎縮（いしゅく）した状況から脱却し、新たな成長に向けた一歩を踏み出すタイミングを迎えている。そこで〝モノづくり先進都市・京都〟の成長、発展を支援する京都商工会議所の立石義雄会頭と京都工業会の服部重彦会長の両氏に新たな成長へ向けた取り組みや展望を聞いた。

新たな成長への軌跡

「知恵産業」集積に力

京都商工会議所会頭
立石　義雄氏

□■□

―京都経済界の現状をどう見ていますか。

「中国など新興国の経済成長を背景に業績好調な電子デバイス関連業界が京都経済をけん引している。一方、伝統産業や小売業といった内需型企業は足踏み状態にある。環境や健康など成長産業への深耕とともに企業規模を問わず、グローバルな展開が成長のカギを握る。また、新年度は観光産業が堅調。中国観光客の回復感に加え、宗教行事や今秋予定の国民文化祭が集客効果を発揮する」

―京都の都市特性および優位性について、どのようにお考えですか。

「日本文化の中枢都市として、京都が世界に認められる理由は伝統をかたくなに守りながらも新しい住環境やビジネスモデルを創造する提案力にある。大学の集積で産学公連携がスムーズにできるうえ、行政や経済、文化など各分野のトップとの交流で質の高い情報が容易に得られるといった優位性がある。高い文化や学術を有する創造的都市はその時代の産業に革新を起こす。モノづくり産業においても先端性と独創性を柱に高付加価値型経営を追求してきた実績と強みがある」

―会議所が展開する主要な施策は。

「今後3年間の指針として『ニュー京商ビジョンセカンドステージ』を策定した。〝知恵産業のまち・京都の推進〟を柱に自立した中小企業を誘発する施策を展開する。11年度は知恵ビジネス、観光、アジアを重点課題に掲げた。特に知恵ビジネスでは新たな社会ニーズに顧客密着型の技術や商品、サービスの提供で応える。これまで普及啓発のため〝知恵ビジネスプランコンテスト〟を実施し、12社を表彰した。今後も販路支援などで意欲のある中小企業の育成を図り、3年後にはさまざまな分野でイノベーションを起こし、知恵産業ビジネスの集積基盤を構築していきたい」

「さらに観光産業はアジア内需の取り込みを意識し〝量から質〟への構造転換を行政に提案していく。一方、本所内に設けた〝中国ビジネス相談デスク〟とともに行政と設立した〝上海ビジネスサポートセンター〟を活用し、中国へのビジネス展開や販路拡大を支援する」

―ビジョン実現にはオール京都での取り組みが重要になります。

「来月には府、市および京都工業会とともに知恵ビジネスを支援する『知恵産業育成機構』を構築する。産業振興施策で行政と経済団体が一体となる取り組みは画期的だ。インバウンド観光の振興なども含め、これまで以上に行政や経済団体と連携した取り組みが必要になる。大きなビジョンを共有した上でおのおのの施策を遂行していく考えだ」

地域経済団体トップに聞く

企業の中国進出支援

京都工業会会長
服部　重彦氏

□■□

―京都産業界にも明るさが出てきました。

「リーマン・ショック以前までには戻らないものの、景況感は総じて回復基調にある。ただ、企業業績の復調は効率化策や海外展開での伸長を加味したもの。とりわけ中小企業を中心としたモノづくり産業はいまだ厳しさを残している状況だ」

―カギを握る産業は。

「堅調な海外動向とともにタブレット端末の活況を受け情報（IT）産業や半導体、電子部品関連の動向に注目している。加えて京都では『グリーンイノベーション』と『ライフイノベーション』の成長戦略産業に期待する。『グリーン』は太陽電池や電気自動車関連など新エネルギー分野で話題が多い。『ライフ』では医療関連をベースに京都の企業群が特性を発揮している。一方、ユニークな企業群で構成する試作業界では、各社がネットワークを組み事業や販路を拡大するケースが見られる」

―新年度事業で力を入れる内容は。

「海外展開を目指す会員に対し中国進出をサポートする。さらに現地展開する会員企業の課題や提案を聞き、技術や部材供給に応える国内企業と橋渡しする。アセアン地域の状況把握にも努める。環境問題では温暖化への対応に経済4団体で取り組む計画だ」

「産学連携では会員間で抱える技術や頓挫した研究事例を持ち寄り、改めて研究に挑戦する企業と大学とのマッチング事業を始める。まずは当社（島津製作所）がかかわったCO2固定化技術を取り上げ、光合成の研究者と連携しCO2削減に貢献できる新技術を体系化する。あくまで実用化を目標に掲げていく」

―中小支援では人材育成が重要になります。

「今春、京都府や京都市、商工会議所とともに『京都産業育成コンソーシアム』を発足する。4者の産業施策を融合し効果的な中小支援策をワンストップで提供することを目指す。中でも人材育成では、優れた講師のそろう各組織のプログラムから、参加企業が最適な内容を選択できる。他地域では例のない取り組みと期待している」

―京都企業が持つ優位性とは。

「モノづくりを中心に海外でも認められる高いブランド力がある。これは伝統と進取の気風を受け継ぐこの地の風土が培ってきたもの。そして、これら多彩なモノづくり産業の中でも、生産技術にたけた企業の集積が京都最大のポテンシャルといえる」

〝試作のメッカ〟旗印に

新たなグループ 本格始動

「モノづくりを強くすることが府の使命」―。京都府が京都産業21（京都市下京区）と、2月に京都パルスプラザ（京都市伏見区）で開いた「京都ビジネス交流フェア2011」の主催者あいさつで、太田昇副知事は強調した。

今回で12回目を迎えた同フェアでは、主要イベントの「ものづくり加工技術展」に府内のモノづくり関連企業123社・15グループが出展して製品や技術力をPRした。また、近畿・四国11府県による合同商談会「近畿・四国合同緊急広域商談会」には117社の発注メーカーが参加。中小企業541社が新規取引先の開拓に向け、熱心に商談していた。

京都産業21が選出する10年度の「京都中小企業技術大賞」では、京都中小企業技術大賞で中嶋金属（京都市右京区）、同優秀技術賞で魁半導体（同下京区）など4社の合計5社が表彰された。

京都府が〝試作のメッカ〟を標榜（ひょうぼう）していることもあり、ものづくり加工技術展では複数出展していた試作グループのブースや製品が目を引いた。機械金属関連18社で構成する「京都試作ネット」や、伝統工芸11社が集う「京都伝統工芸試作ねっと」などが技術力をアピールした。

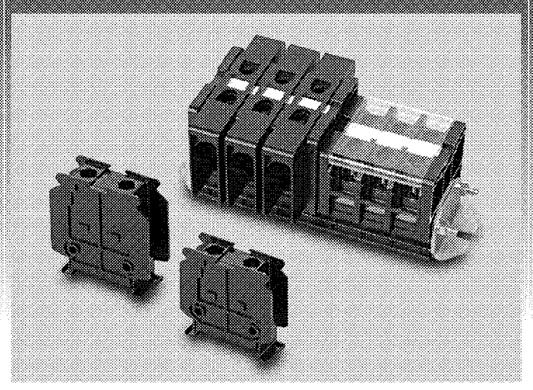
これら試作グループが参画する「京都試作プラットフォーム」の一員として治具・自動機関連9社で組織する10番目のグループ「京都治具ソリューションネット」が同展の開催に合わせて本格的に活動を開始。秀峰自動機（京都府宇治市）の栗山武社長が代表を務め、海外からの受注も視野に研究開発や量産現場の生産性向上に貢献する治工具や自動機を提案、試作、製造する。

京都の自治体や経済団体が「新京都ブランド」として位置づけている試作。高度な技術を持つ中小企業の新たな活躍の場として期待が膨らんでいる。

ビジネス交流フェアでの試作グループの展示

東日本大震災の被災地の皆様に
心よりお見舞い申し上げます。

高耐圧仕様と安全構造を備えた端子台

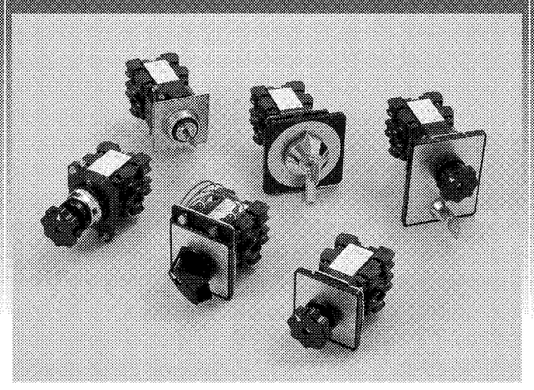


高耐圧端子台　TXH形

特　長

●定格絶縁電圧AC1000V、DC1500Vに対応した高耐圧仕様です。
●端子部に直接触れられない『フィンガープロテクション構造』の採用により、感電事故を未然に予防します。
●配線カバーを装着することにより、絶縁キャップ無しで絶縁距離の確保が可能です。
●端子ユニットの外側にリブを設けたことにより、単極毎にワンタッチ脱着が可能です。

安全構造で耐油・難燃性に優れた操作スイッチ



制御用カムスイッチ　H形

特　長

●スイッチ本体の樹脂材料には耐油性・難燃性に優れたナイロン系樹脂を採用しております。
●ねじアップ構造の採用により、配線時の作業性向上を実現します。
●端子部に直接触れられない『フィンガープロテクション構造』の採用により、感電事故を未然に予防します。
●ツイン接点機構や防水仕様、キー操作など用途に応じた多彩なバリエーションを取り揃えております。

ご請求はこちら ≫ news-nk@fujidk.co.jp
「2010年度版 総合カタログ」 進呈中!

『Web EDI』インターネット販売　不二電機 Web-EDI　検索
ISO9001取得　ISO14001取得
E-mail:news-nk@fujidk.co.jp
お問合せはこちら TEL(077)562−1215　FAX(077)562−1213

不二電機工業株式会社　URL ≫≫≫ 不二電機　検索

技術営業部／〒525-8521　滋賀県草津市野村3−4−1　☎(077)562−1215　FAX(077)562−1213
大阪営業部／〒567-0888　大阪府茨木市駅前3−2−2　晃永ビル　☎(072)624−7175　FAX(072)624−7235
東京営業部／〒105-0011　東京都港区芝公園1-1-12　芝公園電気ビル　☎(03)5401−3379　FAX(03)5401−3047

ISHIDA

創造の先に世界品質

イシダは計量技術を通じて、
世の中に必要とされる存在、“WORLD BRAND”を目指します。

計量・包装・検査システム
株式会社イシダ
京都市左京区聖護院山王町44番地
http://www.ishida.co.jp